# 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日


上場会社名　日本ピグメント株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4119　URL　http://www.pigment.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 浅羽　幸夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長　(氏名) 今井　信一　TEL 03-3258-1412

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 17,312 | △8.2 | 213 | △70.1 | 231 | △67.5 | 133 | △68.9 |
| 23年3月期第2四半期 | 18,854 | 32.3 | 713 | ― | 711 | ― | 430 | ― |

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　156百万円　(△44.7%)　23年3月期第2四半期　283百万円　(―%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 8.50 | ― |
| 23年3月期第2四半期 | 27.37 | ― |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 22,201 | 9,381 | 40.0 |
| 23年3月期 | 22,991 | 9,364 | 38.5 |

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　8,874百万円　23年3月期　8,856百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | ― | ― | ― | 9.00 | 9.00 |
| 24年3月期 | ― | ― | | | |
| 24年3月期(予想) | | | ― | 6.00 | 6.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 36,000 | △5.0 | 1,000 | △25.8 | 900 | △31.0 | 480 | △38.5 | 30.54 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期2Q | 15,758,994 株 | 23年3月期 | 15,758,994 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期2Q | 43,400 株 | 23年3月期 | 43,183 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期2Q | 15,715,658 株 | 23年3月期2Q | 15,717,332 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報……2
(1)連結経営成績に関する定性的情報……2
(2)連結財政状態に関する定性的情報……3
2. 四半期連結財務諸表……4
(1)四半期連結貸借対照表……4
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書……6
(3)継続企業の前提に関する注記……8
(4)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記……8

１.当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 当期の経営成績

当第２四半期連結累計期間における世界経済は、中国をはじめとした新興国経済が、金融引き締めや先進国経済の減速の影響などから拡大のペースが鈍化傾向にあります。欧州については、ソブリン問題の拡がりが実体経済に影響を与え始めており、米国についても、失業率の高止まりや住宅価格の下落等により極めて弱い景気回復が続くと見込まれているように、全体として景気減速の動きがみられました。

我が国経済においては、海外経済の回復が弱まっているものの、サプライチェーンの立て直しに伴い震災の影響が剥落しつつあり、生産や輸出は持ち直しの動きがみられております。一方で、米国や欧州の信用力低下に伴う円高の進行に加え、企業収益は減少しており依然として厳しい状況にありますが、全体としては緩やかに持ち直しております。

当業界におきましては、自動車産業向けを中心に震災の影響から回復の動きが見られましたが、中東の政情不安や新興国の需要の増加もあり原材料価格は引き続き高騰しており、厳しい事業環境となっております。

このようななか当社グループは、自動車産業向けを中心に需要が回復するなか、引き続き生産効率の向上などの合理化の推進に取り組むとともに更なる製販体制の強化に努め、業績の回復にまい進してまいりました。

部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、国内では第２四半期に入り、主要ユーザーである自動車産業向けを中心にサプライチェーンの復旧等に伴い生産が持ち直したことから、受注が回復傾向となったものの、上半期では震災の影響で大幅に受注が落ち込む展開となりました。樹脂用着色剤部門も、自動車産業向けが持ち直したものの、家電産業向けは引き続き在庫調整の影響が残り、全体としては計画を下回る状況となりました。加工カラー部門は、厳しい事業環境に変わりないものの、足元では自動車産業向けの持ち直しのほか、不採算取引の見直しや建材産業向けでの震災特需もあり、回復傾向となっております。

このような結果、第２四半期連結累計期間の当社グループの売上高は 17,312 百万円（前年同四半期比 8.2%減)、経常利益は 231 百万円（前年同四半期比 67.5%減)、当四半期純利益は 133 百万円（前年同四半期比 68.9%減）となりました。

②企業集団のセグメント別の状況

当社グループのセグメント業績は次のとおりであります。

日本

国内は、第２四半期に入り主要ユーザーである自動車産業向けを中心に回復しておりますが、全体としては震災の影響を大きく受け、第２四半期連結累計期間の売上高は 11,389 百万円(前年同四半期比 12.2%減)となりました。また損益面では、原材料価格の高騰に加え、震災の影響を受けた取扱数量減少に伴う生産効率の悪化により国内子会社の採算が大幅に悪化したことから、営業損失は７百万円(前年同四半期営業利益 320 百万円)となりました。

東南アジア

東南アジアにおいては、足元は震災の影響が剥落してきておりますが、当第２四半期連結累計期間においては、中国をはじめとした新興国の拡大テンポが緩やかであったほか、自動車産業向け等が震災の影響により受注が減少したことや原材料価格高騰に伴う売上単価上昇もあり、第２四半期連結累計期間の売上高は 5,760 百万円(前年同四半期比 2.7%増)となりましたが、営業利益は 239 百万円(前年同四半期比 33.2%減)となりました。

その他

その他は、当第２四半期連結累計期間の売上高が162百万円(前年同四半期比40.7%減)、営業損失は18百万円(前年同四半期営業利益34百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は22,201百万円と前期末の22,991百万円に比べ790百万円の減少となりました。

資産のうち流動資産は11,875百万円と前期末の12,585百万円に比べ710百万円の減少となりました。この主な要因は現金及び預金が844百万円、受取手形及び売掛金が190百万円それぞれ減少し、製品、原材料及び貯蔵品が合計で279百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は10,325百万円と前期末の10,406百万円に比べ80百万円の減少となりました。この主な要因は、有形固定資産が減価償却などにより 95 百万円減少し、投資その他の資産が投資有価証券の株価上昇もあり 10 百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は12,819百万円と前期末の13,627百万円に比べ807百万円の減少となりました。負債のうち流動負債は9,632百万円と前期末の9,941百万円に比べ309百万円の減少となり、固定負債は3,187百万円と前期末の3,685百万円に比べ498百万円の減少となりました。固定負債減少の主な要因は長期借入金が444百万円減少したことなどによるものです。また、純資産合計は9,381百万円と前期末の9,364百万円に比べ16百万円の増加となりました。

## ２．【四半期連結財務諸表】
### (1)【四半期連結貸借対照表】

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,477,551 | 2,633,291 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,010,335 | 5,820,258 |
| 製品 | 1,634,075 | 1,759,105 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,161,328 | 1,316,275 |
| その他 | 302,753 | 346,615 |
| 貸倒引当金 | △117 | △117 |
| 流動資産合計 | 12,585,927 | 11,875,429 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 3,187,109 | 3,076,653 |
| 土地 | 3,488,843 | 3,488,432 |
| その他（純額） | 1,224,982 | 1,239,932 |
| 有形固定資産合計 | 7,900,935 | 7,805,018 |
| 無形固定資産 | 53,850 | 58,998 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,051,407 | 2,079,461 |
| その他 | 453,066 | 431,963 |
| 貸倒引当金 | △53,206 | △49,743 |
| 投資その他の資産合計 | 2,451,268 | 2,461,681 |
| 固定資産合計 | 10,406,054 | 10,325,698 |
| 資産合計 | 22,991,981 | 22,201,128 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,188,817 | 5,022,519 |
| 短期借入金 | 3,327,550 | 3,270,473 |
| 未払法人税等 | 215,176 | 85,822 |
| 賞与引当金 | 220,716 | 265,745 |
| その他 | 989,653 | 988,238 |
| 流動負債合計 | 9,941,914 | 9,632,799 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 82,080 | 39,520 |
| 長期借入金 | 2,903,644 | 2,458,810 |
| 繰延税金負債 | 409,751 | 425,739 |
| 退職給付引当金 | 152,491 | 147,610 |
| 役員退職慰労引当金 | 137,725 | 115,403 |
| 固定負債合計 | 3,685,692 | 3,187,083 |
| 負債合計 | 13,627,606 | 12,819,883 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,481,159 | 1,481,159 |
| 資本剰余金 | 1,047,700 | 1,047,700 |
| 利益剰余金 | 7,243,643 | 7,235,820 |
| 自己株式 | △13,665 | △13,710 |
| 株主資本合計 | 9,758,838 | 9,750,969 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 222,783 | 202,564 |
| 為替換算調整勘定 | △1,125,565 | △1,078,541 |
| その他の包括利益累計額合計 | △902,781 | △875,977 |
| 少数株主持分 | 508,318 | 506,251 |
| 純資産合計 | 9,364,375 | 9,381,244 |
| 負債純資産合計 | 22,991,981 | 22,201,128 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第２四半期連結累計期間】

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自 平成22年４月１日<br>至 平成22年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自 平成23年４月１日<br>至 平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 18,854,053 | 17,312,140 |
| 売上原価 | 16,845,286 | 15,771,041 |
| 売上総利益 | 2,008,767 | 1,541,098 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 人件費 | 514,698 | 565,969 |
| 賞与引当金繰入額 | 68,861 | 75,913 |
| 退職給付費用 | 47,160 | 42,600 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 9,156 | 11,994 |
| その他 | 655,299 | 631,141 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 1,295,174 | 1,327,618 |
| 営業利益 | 713,592 | 213,480 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,784 | 3,893 |
| 受取配当金 | 26,045 | 27,109 |
| 持分法による投資利益 | 14,235 | 34,166 |
| その他 | 51,631 | 35,903 |
| 営業外収益合計 | 95,696 | 101,072 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 72,847 | 59,606 |
| その他 | 24,619 | 23,271 |
| 営業外費用合計 | 97,467 | 82,878 |
| 経常利益 | 711,821 | 231,674 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,493 | 3,868 |
| 関係会社株式売却益 | 0 | － |
| 貸倒引当金戻入額 | 12,640 | － |
| 特別利益合計 | 14,133 | 3,868 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 1,983 | 6,599 |
| 投資有価証券評価損 | 61,058 | － |
| 投資有価証券売却損 | － | 51 |
| 訴訟関連損失 | 7,000 | － |
| 特別損失合計 | 70,042 | 6,650 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 655,913 | 228,892 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 221,013 | 65,332 |
| 法人税等調整額 | △14,177 | 16,024 |
| 法人税等合計 | 206,836 | 81,356 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 449,077 | 147,536 |
| 少数株主利益 | 18,841 | 13,917 |
| 四半期純利益 | 430,235 | 133,618 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第２四半期連結累計期間】

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自 平成22年４月１日<br>至 平成22年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自 平成23年４月１日<br>至 平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 449,077 | 147,536 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △126,814 | △20,218 |
| 為替換算調整勘定 | △13,843 | 9,016 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △24,782 | 20,402 |
| その他の包括利益合計 | △165,440 | 9,200 |
| 四半期包括利益 | 283,636 | 156,736 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 262,491 | 160,423 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 21,145 | △3,686 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自　平成23年4月1日　至　平成23年9月30日）
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自　平成23年4月1日　至　平成23年9月30日）
該当事項はありません。